

下水道展 2012 神戸 クイズラリー報告書

名称：下水道クイズラリー

目的：「水と食べ物のリレー」を切り口としたストーリーに沿って下水道展の各ブースをまわってもらう企画。これにより、一般市民向けのPRをより分かりやすく、より楽しく、より効果的なものとする。また、クイズラリーでブース間をつなげることにより、見学者の流れを形成し、下水道展そのものを盛り上げていく。今回は民間企業にも参加していただき、内容の一層の充実を図った。

実施期間：平成 23 年 7 月 24 日（火）～27 日（金）

場所：神戸国際展示場（神戸市中央区港島中町 6-11-1）

体制：

主催：日本下水道協会（主催）

企画連携・ボランティア協力：下水道広報プラットフォーム、NPO 法人 21 世紀水倶楽部

参加団体：神戸市、堺市、関西地方下水道協会、下水道高度処理促進全国協議会、地方共同法人日本下水道事業団、財団法人下水道新技術推進機構、公益社団法人日本下水道管路管理業協会、社団法人日本下水道処理施設管理業協会、社団法人全国上下水道コンサルタント協会、神鋼環境ソリューション、住友重機械エンバイロメント、月島機械、前澤工業、メタウォーター、東京都下水道サービス

実施内容：水や食物、エネルギー・資源のリレーについて、それをつなぐ大事な役割を担っているのが下水道だということを知ってもらうため、これらの循環のストーリーを基本としてクイズラリーを実施する。本クイズラリーでは「伝わる言葉」を使うことを心掛けるとともに、各ブースの実験や遊びなどを効果的に組み合わせることで、下水道の働きや課題などを実感してもらう仕組みとする。これにより、私たち一人ひとりが水や食べ物の循環のランナーであることに気づいてもらい、下水道にどうバトンを渡すのかを考えてもらうきっかけとする。

ボランティア活動：次頁の表の通り、下水道広報プラットフォームおよび 21 世紀水倶楽部の会員の有志にボランティアでクイズラリーのお手伝いをいただいた。その内容はおもに、ラリーポイントのうち分かりにくい箇所を案内していただくというものである。今回は展示場が 3 つに分かれていることもあり、ボランティアの協力がなければ運営はかなり難しかったと思われる。

ボランティアメンバーと活動表

	24		25		26		27	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
メタウォーター	○	○	○	○	○	○	○	○
石川微知子氏							○	○
長谷川 充氏		○	○					
中西正弘氏		○		○				
岡 祐二郎氏							○	
中山 勲	○	○	○	○	○	○	○	○

クイズ内容：全 16 問を出題（別添資料参照）。全問正解の参加者には下水協をはじめ参加団体が用意した景品（蛍光ペンなど）をプレゼントした。（間違っても何度もチャレンジできるので、参加者全員に景品をプレゼントした）

参加者数：クイズラリーの参加者数は下表の通り 1319 人で、昨年（東京開催：4 日間トータル 2528 人）の半数程度であった。

参加者数は解答用紙を配布した数でカウントとしたものであり、実際には子供と一緒にまわった保護者もいる。つまり、厳密には集計値よりも多い参加者があったと言える。

下水道展'12 神戸 クイズラリー参加者

	7 月 24 日	7 月 25 日	7 月 26 日	7 月 27 日	4 日間合計
クイズラリー参加者	192	225	255	647	1,319

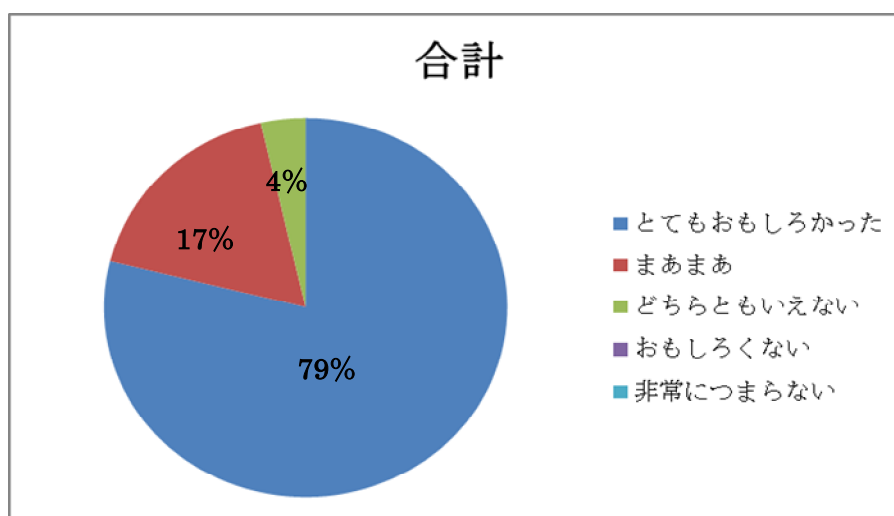
実施結果

- ・水と食べ物の循環の絵を修正（白い卵形消化槽を加えるなど、神戸の下水処理場の特色を反映した）し、クイズの解答用紙にカラー印刷した。また、解答欄も団体名などを省いて極力シンプルな作りにした。
- ・展示場が 3 つに分かれていたことから、各ブースの連携が昨年よりも困難であった。特に入り口が各所に点在していたため、参加登録をせずに入館する人が見られた。
- ・コースをすべて回るとかなりの長距離になるため、途中であきらめて帰った参加者もいた。
- ・前述の通り入口が複数あったことが災いして、来場者に対する主催者側（運営会社）の入館チェックが厳しすぎた感がある。詰問調で迫るスタッフがいて、怖がって帰ってしまった子供たちもいた。
- ・今回は中学生の参加が少なかった印象。

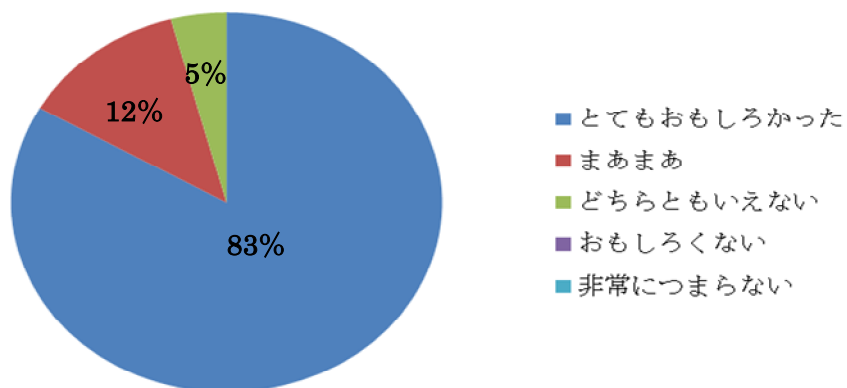
- ・夏休みの自由研究のネタを探しに来る親子が少なくなかった。
- ・同時に複数の子供たちがクイズに挑戦する際、初めに解った子供が大きな声で正解を言うってしまう傾向が強い。
- ・子供は大人以上に真剣にクイズと向き合っていた。
- ・神戸は大震災を経験していることもあって、下水道の地震対策に関心を寄せる主婦が少なくなかった。こうした関心事に直結するPRが不足していたように思う。
- ・今回のように展示スペースが狭いと、ベビーカーを押し、さらに荷物を抱えながら歩く主婦には負担が大きい。また、クイズラリー等への参加意欲を削ぐ要因にもなる。やはりスペースの問題は重要である。
- ・アンケートの結果は概ね良好なので、今後とも継続していきたい。

クイズラリー参加者アンケート

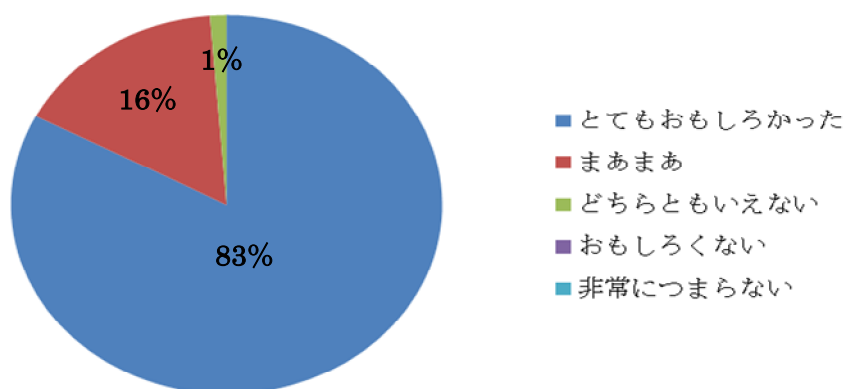
	とてもおもしろかった	まあまあ	どちらともいえない	おもしろくない	非常につまらない
未就学児	20	3	1		
小学生	67	13	1		
中学生	6				
高校生	1				
大学生					
短大・専門					
社会人	19	9	1		
主婦	57	13	5		
その他	3	1			
無記入	3				
合計	176	39	8	0	0



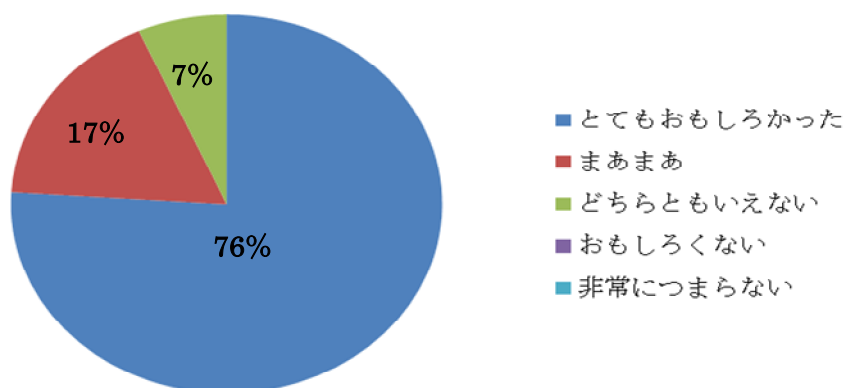
未就学児



小学生



主婦



スナップ



以上